

「アイデアソン」開催 新ビジネス考案へ

IoS—OPとインテル

日本海事協会（NK）の子会社シップデータセンター（ShipDC）が事務局を務める「IoS（船のインターネット）オープンプラットフォーム」



開会あいさつする石澤氏

NYKデジタル

材育成を担うのデジタル人材育成を担う

のデジタル人材育成を担う

「IoS—OP」コンソーシアムと米半導体大手インテルは20—21日、「海事×異業種オープンイノベーション・アイデアソン」を開催した。

今回のイベントは、オンライン形式でZoom（ズーム）とクラウド上のオリジナルテキストを併用し、進められた。参加者のイノベーションに対する学説と手法の体得、企画力の向上などが趣旨。日本郵船のデジタル人材育成を担う

「アイデアソン」を開いた。IoS—OPコンソーシアム会員の海事関連企業などから約50人が参加。8チームに分かれ、イノベーションの伴う新たなビジネスのアイデアを考案した。

初日は、人の欲求・価値観といった「ヒトの本質」と、メガトレンドの「社会潮流」についてフリーディスカッション（自由討論）し、新ビジネスの主に需要面を模索。2日目には、前日の議論の結果に、「テクノロジー」や「ビジネス」の視点を加えてアイデアを固め、プレゼンテーションを実施した。

参加チームからは「身の状態に適した情報を取得できる仕組み」「デジタルツイン（仮想空間に再現した複製）農業」「移動型脱炭素都市（人工島）」「子供と自動車運転者の相互検知」など、多種多様なアイデアが発表された。

IoS—OPは、船舶の運航データについて、データ提供者の利益を損なわずに関係者間で共有できる共通基盤。造船所やメーカーなどへの利用権販売や、各種サービスへのデータ提供なども可能とする。

IoS—OPは、船舶の運航データについて、データ提供者の利益を損なわずに関係者間で共有できる共通基盤。造船所やメーカーなどへの利用権販売や、各種サービスへのデータ提供なども可能とする。